

<研究名称>

眼窩底骨折術式の検討

<実施責任者>

耳鼻咽喉科 副部長 高林 宏輔

<研究期間>

倫理委員会承認後

<診療・研究の目的>

眼窩底骨折手術における術式の改良

<実施内容（方法）等>

従来、内視鏡単独での術式を施行してきたが約 10%に術後眼球陥凹が認められることが分かってきた。そのため、眼窩を硬性再建するための術式を考案、施行する。

<危険性・副作用等>

手術自体は過去の合併症と変わらず、眼球運動障害の残存、眼球陥凹の出現、視神経障害など。

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし。術式自体は従来頭蓋底手術に用いるものを眼窩底骨折に流用したため、アプローチ自体は新規性がなく、合併症も新たなものはないと思われる。

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者	所 属	耳鼻咽喉科
	職 名	部長
	氏 名	藤田 豪紀

実施担当者	所 属	耳鼻咽喉科
	職 名	副部長
	氏 名	高林 宏輔

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 耳鼻咽喉科 高林 宏輔

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648